



蒲郡公民館の数ある教室の中で、まず紹介したいのは「パソコン教室」です。

このパソコン教室は、平成14年4月に地元の法人から5台のパソコンの寄贈を受けたのがきっかけでスタートし、現在は、パソコン10台、講師5人(全員ボランティア)で行っています。市内にある11の公民館の中でも、人材面、設備面ともにこれだけそろったパソコン教室は、ほかにないと自負しています。

以前は卒業制度を採用していませんでしたが、1年ごとに卒業して後輩に道を譲っていただけでなく方式に変更しました。そうして平成22年度生の募集をしたところ、定員50人に対し、80人近くの方から応募がありました。このことはパソコン教室の必要

性を痛感させてくれる出来事でした。



「心を歌にのせて」をモットーに活動する蒲郡女声コーラスは、今年で33周年を迎えます。毎週木曜日の午後2時間の練習を重ね、市民会館で演奏の会などを行っています。ほかにも、まだまだ紙面ではご紹介できないほど、多くの方たちが蒲郡公民館で活動しています。

また、蒲郡公民館では、クラブ活動だけではなく、生涯学習講座にも力をいれています。昨年は、ステンドグラスのランブシエード作り教室を行い好評を博しました。

今後、地域の皆さんと一緒に「地域の人たちが、いつでも気軽に集え、楽しく学べる」公民館をめざし、公民館職員一丸となって頑張っていきます。



専門学生

小田 晃嗣さん(三谷町)

■大道芸を始めたきっかけは

高校2年生の冬、ラグーナ蒲郡に遊びに行った際、たまたまパフォーマンズをしていた大道芸人を見て感動を受けたのがきっかけ。それから独学でジャグリングを始めました。

■大道芸の魅力は

練習をしていると「こつ」をつかむ瞬間、技ができるようになる瞬間があり、その瞬間が魅力。テレビゲームには終わりがあがるが、大道芸は無数の技やプログラムをつくることができ、終わりが無いのも魅力です。

■どのくらい練習をしているの

高校時代は1日5〜6時間練習をしていましたが、最近は専門学校などで忙しいので1日3時間くらい練習をしています。

感動と元気、そして笑いを与えるパフォーマーめざす 大道芸人・快斗さん



■これからの活動は

市内の保育園や児童館などのイベントに出演して腕を磨きたい。最終的には、大道芸を始めるきっかけとなった地・ラグーナ蒲郡でやりたい。

■将来の夢は

日本ではまだまだジャグリングの知名度が低いので、自分の教室を持つなどしてジャグリングを広めたい。また、年に1度開かれる大道芸ワールドカップに出場したい。

■最後に一言

マジックにはタネがあるが、大道芸にはタネはなくすべてが本物であるところを見てほしい。

「あきらめなければ必ずできる」

必ずできる

最近パフォーマンズが終わった後に言っている言葉。自分がそうであったように、自分がやるジャグリングで子どもたちに夢を与えることができたらうれしい。